

ふれあい

主な内容

- 1P. 第28回芸能音楽祭
- 2P. 第28回芸能音楽祭/地元の歴史
- 3P. あれや・これや/私のたのしみ
- 3P. 1中コミセンコーナー/地域のわだい
- 4P. 心に残る思い出/お庭拝見
- 4P. 部会だより

●発行所/ひたちなか市長堀町3-4-1 (1中地区コミュニティセンター内) ☎029-275-2671 ●発行責任者/坂井 久彦 ●編集/広報委員会

熱気!!あふれる 第28回 芸能音楽祭



平成30年度の芸能音楽祭は、昨年度よりも1ヶ月早い12月15日に、市文化会館小ホールで開催されました。開会式では就任したばかりの大谷明市長の笑顔と力強いご挨拶をいただき、各自治会やコミセン利用団体27組と特別出演1組の出場者は、例年以上に熱くステージを盛り上げました。



器用さが要求される

銭太鼓

大平睦会「友愛会」

小松澤 勝雄

♪スーン・スーン・ズンドコ♪

今夜も歯切れの良い、軽快な曲が流れている。時々、バチが床に落ちる雑音が入る。20名の会員は、月2回、和気あいあい楽しく練習している。

今はレパートリーも多くなり、公共施設やデイサービス施設への慰問で忙しい。歯切れの良い、リズム感のある曲が喜ばれるようである。さらに技術を磨き、ボランティア活動や各種の発表会で披露したい。



ワクワク・ドキドキの

初舞台

ダンスサークル「フリースタイル」

安 はるみ

芸能音楽祭に参加することを決めてから、3ヶ月の稽古日は、1時間前に集まって自主練習をする程の熱の入れ様でした。

客席からの拍手や声援にも支えられ、途中で止まることなく踊り切れた事は、練習のたまものには違いありません。踊り終えた後の晴れやかな顔は、減多にできない経験をした達成感に満ち溢れていました。

楽しかったよ!! 第28回 芸能音楽祭



憧れのハワイ航路 (西中根自治会)



そして未来へ (三反田自治会)



鼓舞太鼓 (長堀フォークダンスクラブ)



雪が降る・悲しき天使 (スイーツウクレレ)



城山 (詩舞・剣舞の会)



オーボエ演奏 (栗田貴祥氏)



クリスマスソング (長松自治会)



花笠音頭 (金上自治会)



チャチャチャ (スタースタージャンプ ダンススポーツ スポーツ少年団)

地元の歴史

武石祐左衛門の蝦夷地探検

今年、明治2年(1869年)松浦武四郎が「蝦夷地」を「北海道」と命名してから150年になります。これより76年前、水戸藩主徳川治保の命を受けた勝倉村の武石祐左衛門と天下野村(現常陸太田市天下野)の木村謙次が蝦夷地探検に赴きました。

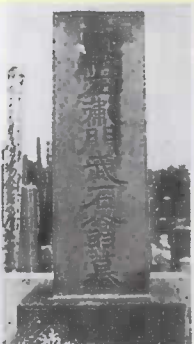
祐左衛門は宝暦2年(1752年)勝倉村の農家に生まれました。幼少の頃から学問を好み、水戸藩の立原翠軒や藤田東湖の父幽谷、その他多くの学者・医者と交友し、その指導を受けました。家にあつてはいわゆる晴耕雨読の生活。特に天文学に興味を持ち、自宅倉庫の屋根裏に天象観測部屋を設け、手製の観測器で熱心に天体を観測していました。

寛政5年(1793年)1月18日に祐左衛門と謙次は水戸を出発し、3月4日松前に上陸。蝦夷地の産業やロシアについて、アイヌ民族や関係者から聞き取り調査をして3月29日帰郷。全日程72日間にわたる蝦夷地状況視察という大役を果たしました。時に祐左衛門は41歳でした。4月1日、朋友の幽谷など、水戸藩の有名な学者達が祐左衛門と謙次の無事帰国を祝い、翌2日には翠軒や城代家老中山備後の守の御前で蝦夷地状況視察の詳細を報告しました。

「5年後、寛政10年(1798年)幕府の近藤重蔵らに2人が随行して、択捉島に渡り北方探検した」と、水戸藩史料などに記録があるにもかかわらず、現在の史実では祐左衛門の参加は、認められていないのが残念です。

天文学の天才といわれた祐左衛門は、その後功績をかわれ大山守兼庄屋の任を受け、文化7年(1810年)には郷士となりました。民政に努め、余暇を見て文化年中に彗星を発見するなど学問に励みました。文政7年(1824年)2月20日、72歳でその生涯を終えました。

祐左衛門の墓は勝倉の道明寺にあり、墓碑には天保6年(1835年)に祐左衛門の功績をたたえた東湖の文章が刻まれています。



IV-45 図 武石祐左衛門の墓
(勝倉 道明寺共同墓地)

勝田市史より



現在の祐左衛門の墓石(中央)

私のたのしみ



多趣味に生きる

三反田自治会長
菊池 均さん(69)

伺ったのは、菊池さんが「遊び場」という作業場。明るい陽射しのなか、たくさんのお彫りの小鳥たちと道具に囲まれていました。「楽しみは？」と尋ねると、30年以上続けているバドミントンについて話してくれました。菊池さんはメンバー20人程の主宰チームを持ち、三反田小体育館で毎週土曜日に夜7～9時に活動しています。男子中学生と対戦する程の腕前で、小学2年生の孫と将来対戦するのを楽しみにしています。

バドミントンが動の趣味なら、静の趣味はバードカーピング。退職後に始めて4年目。公民館の教室で先生に習い、一年目は50羽も彫ったとか。まな板用の銀杏材板を持っていたのでそれを使い、流れ作業の様にできたそうです。今はより材質の柔らかいジェルトンという南洋材を使い、年に30羽を彫り上げています。道具はノミ・彫刻刀・グラインダー。最近はグラインダー使用が多いそうで、先端に取り付ける形状と用途の異なるビットが数十種類ありました。カワセミ・スズメ・ジョウビタキなど身近な野鳥を参考書と設計図を見ながら制作し、夢中になると夜11時頃まで続きます。

「趣味は無心になれるのがいい」「動の趣味と静の趣味を持つといい」と語る菊池さんは、ものづくりが好きで釣りのために釣り竿や釣り舟まで作ったとか。他にもカラオケ・グランドゴルフ・盆栽などと多趣味な方です。自治会の活動に尽力しながら、さらに多方面に関心を向ける生き方はぜひ見習いたいものです。



道具(彫刻刀とビット)

バードカーピングの作品

一中地区地域のふれあいを広める会で、体育部会をやったりコミセン祭りの焼き鳥を焼いたり、大変にぎやかであったことなどが思い出されます。このようなことができるのも、ふれあいの会が活動をしていること、そして平和であるからだ



バナナの生産国はインド・ブラジル・エクアドル・インドネシア・フィリ

ピンなどです。我が国の輸入先としてはフィリピンが約70%、エクアドルが約20%です。



バナナは樹木ではなく、3～5mの高さになる多年生の草です。その品種は世界中に数多く分布していますが、中でもキャベンディッシュは人気が高く、適度な甘さと食感をもっています。

食べる時はよく水洗いして、果皮の表面についている汚れをとってから、両端を約1cm切り落として皮をむくとよいです。

食する時はよく水洗いして、果皮の表面についている汚れをとってから、両端を約1cm切り落として皮をむくとよいです。

食する時はよく水洗いして、果皮の表面についている汚れをとってから、両端を約1cm切り落として皮をむくとよいです。

食する時はよく水洗いして、果皮の表面についている汚れをとってから、両端を約1cm切り落として皮をむくとよいです。

食する時はよく水洗いして、果皮の表面についている汚れをとってから、両端を約1cm切り落として皮をむくとよいです。

食する時はよく水洗いして、果皮の表面についている汚れをとってから、両端を約1cm切り落として皮をむくとよいです。

食する時はよく水洗いして、果皮の表面についている汚れをとってから、両端を約1cm切り落として皮をむくとよいです。

食する時はよく水洗いして、果皮の表面についている汚れをとってから、両端を約1cm切り落として皮をむくとよいです。

食する時はよく水洗いして、果皮の表面についている汚れをとってから、両端を約1cm切り落として皮をむくとよいです。

食する時はよく水洗いして、果皮の表面についている汚れをとってから、両端を約1cm切り落として皮をむくとよいです。

食する時はよく水洗いして、果皮の表面についている汚れをとってから、両端を約1cm切り落として皮をむくとよいです。

食する時はよく水洗いして、果皮の表面についている汚れをとってから、両端を約1cm切り落として皮をむくとよいです。

食する時はよく水洗いして、果皮の表面についている汚れをとってから、両端を約1cm切り落として皮をむくとよいです。

食する時はよく水洗いして、果皮の表面についている汚れをとってから、両端を約1cm切り落として皮をむくとよいです。

食する時はよく水洗いして、果皮の表面についている汚れをとってから、両端を約1cm切り落として皮をむくとよいです。

食する時はよく水洗いして、果皮の表面についている汚れをとってから、両端を約1cm切り落として皮をむくとよいです。

食する時はよく水洗いして、果皮の表面についている汚れをとってから、両端を約1cm切り落として皮をむくとよいです。

食する時はよく水洗いして、果皮の表面についている汚れをとってから、両端を約1cm切り落として皮をむくとよいです。

食する時はよく水洗いして、果皮の表面についている汚れをとってから、両端を約1cm切り落として皮をむくとよいです。

あれや・これや

地域行事に

楽しく参加しよう

金上自治会

関口 勝夫

厳寒の候、皆様お元気でお暮らしのことと思います。寒さもさながら乾燥した日々が続いています。最近はインフルエンザが大流行していると、毎日のように報道されています。最善の予防をしていきたいと思っています。

最近の傾向として、個人情報保護の厳守等で近隣の触れ合いを敬遠しがちではないかと思っています。ふれあいの会を通して皆で行事へ参加し、楽しく対話できるよう、少しでも努力していきたいと思っています。

バナナの話

中根自治会

ベンネム 中根 和三郎

バナナの燻蒸について研究していた事があるの、今日はバナナのお話をします。バナナは世界中で人気のある果物です。日本や欧米では生のまま食べますが、熱帯地域ではむしろ煮たり、焼いたりして食べています。

バナナは樹木ではなく、3～5mの高さになる多年生の草です。その品種は世界中に数多く分布していますが、中でもキャベンディッシュは人気が高く、適度な甘さと食感をもっています。

バナナの生産国はインド・ブラジル・エクアドル・インドネシア・フィリ

1中3中コンコー

今年もエントランスホールに、三反田小学校の児童・生徒と関係者の107人が作ったまゆ玉飾りが置かれました。

まゆ玉飾りは地域に伝わる小正月の風習で、丸めた餅を柳・梅・桑・榎(えのき)などの枝につけて作物の豊かな「稔り」を表現したもので、それを神棚やその近くに飾り、作物の豊作を祈願した行事です。



地域のわだい

大好きな東石川の環境を守り隊

東石川小学校

今年度、本校では「生活科・総合的な学習の時間」に東石川地区を学習材として、各学年で探求学習を行っています。

その中で5年生は、【環境問題】をテーマに東石川地区のゴミやカラスの問題を調べてきました。当初はあまり意識されていない問題でも、よく調べてみるとその対応の難しさを子どもたちは感じ取り、中心街にありながら公園や自然の残る大好きな東石川地区を、もっと豊かにしたいと思うようになったようです。

この学習では、市環境保全課や商店街の皆さんが、「住みよい街にするにはどうしたらいいか」を話し合っていることも知ることができました。また「サケのふるさと・中丸川」の取り組みでは、卵の孵化も行っています。



心が響き合う陣太鼓

勝田駅前南自治会 小池明弘

東石川小学校に通う5・6年生の中から、毎年、希望者を募って『東石川陣太鼓』チームが結成されます。今年のチームは22名。5月の連休明けから7月初旬までの約2ヶ月間、学校のある日は毎日30分の早朝練習を経て、曲が叩けるようになります。

東石川小学校での行事のほか、おもてまち七夕祭り・ひたちなか祭り・地域の夏祭りなどで発表し、昨年12月15日の一中地区芸能音楽祭でも演奏しました。

毎朝30分早く登校するのは、児童本人にとっても家族にとっても大変です。それでも練習に参加して演奏技術を習得すると、いろいろな場所で発表でき、多くの街の人達とふれ合えて、演奏後はとても嬉しい気持ちになります。



自治会と運動会

笹野自治会 会員

自治会の最大イベントは一中地区の大運動会です。過去には一桁の成績だった我が自治会は、ここ数年棄権する種目もあり残念でした。しかしH30年度の秋季大運動会は、小学生・中高生をはじめ子供会の若いお母さん・お父さん達の頑張りがあり、最後の競技まで応援できたことに感謝しています。

H31年度の運動会もあと半年後には行われます。役員の方、特に組長さん、子供会のお母さん達は人員の確保に大変かと思われますがよろしく!! “参加することに意義があり”

他のスポーツ行事の「ゴルフ」は、一中地区の大会では人員不足で団体戦を棄権することがあります。ゴルフをする方はぜひ…さらに「ゲートボール」も人員不足です。運動量は少なく楽しい団体競技です。興味がある方はぜひ自治会へご連絡を…。



心に残る思い出

子どもの頃の思い出と献饌講

西中根自治会 安 勝彦 (87)

満州事変が起きた昭和6年に、中野村の農家の次男として生まれました。支那事変が起る昭和12年に中根小に入學。小学3年の時に母が病気で亡くなり、祖母に育てられました。

戦時色が強くなる中でも、小学校には楽しい思い出があります。小学校の井戸は、つるべでは危険だからと当時には珍しくポンプ式でした。外で遊んだ後、井戸で足を洗ってから校舎に入るの、廊下が足跡だらけになったことを覚えています。当時は靴がなく下駄で通いましたから、雨が降ると泥で重なり大変でした。小4で太平洋戦争が始まり、勉強の合間に学校で炭を焼きました。中学年の予らが近くの雑木林に木を切りに行き、学校まで運びました。体を鍛えて軍隊に入るのが、当時の子供たちの夢でした。

小6の時、軍事工場に勤めていた18歳の兄が陸軍に志願しましたが、小さい時鉄棒から落ちて脊椎が曲がっていたので不合格。兄は諦めきれず、南方隊の食事の世話をする軍属を志願して戦争に行きました。兵隊に行く人は部落みんなで見送りましたが、兄は家族だけの寂しい見送りでした。昭和19年4月に、次の日フィリピン島に上陸する予定の船に魚雷が当たり沈没したと、戦死の連絡がありました。「どここの家でも戦地に行っている家族がいるから仕方ない、自分が父の農業の手伝いをしなければ」と心に誓いました。

その後、水戸農学校を出て農業一筋です。この頃から私の家は、「献饌講」に入って明治神宮と靖国神社にお供え物を奉納する活動をしていました。阿字ヶ浦の黒沢忠次さんが、「戦争に行かなくても国のために役立つことはないか」と、明治神宮と靖国神社に願い出た始めた団体で、戦時中は中根でも多くの農家が入って米を送っていました。今でも献饌講の活動を続けており、年5キロの米を奉納しています。靖国神社は国のために活躍した人々（吉田松陰、坂本龍馬など）が祀られている神社なのに、戦犯が祀られた神社と思われているのは残念です。



長持ちに神饌物を入れて奉納
(昭和17年 靖国神社 神門の前で)

お庭拝見 勝倉自治会

早春の日差しを浴び、のどかな雰囲気のお庭を訪ねました。(住谷さん宅)



梅の花がきれいです。



以前あった松。むかし「水戸のお殿様からいただいた」とのことです。



庭の主役はこの榎。樹齢130年を越えています。



真っ青な空にクロガネモチが彩りを添えています。



庭石の影に大きなカエルが。



金柑にたくさんの実がなりました。

部会だより

環境部会

2月2日、約20人が参加し、1中コミセンで勉強会と親睦会を実施。今まで2月に地域巡視を行っていたが、室内での行事に切り替えた。ビデオで常陸国・風土記と、市の指定文化財(古代)について学んだ後、輪投げゲームを楽しんだ。昼食時に、近況報告や年長者から戦中・終戦時の体験等を聞き、相互の交流を深めた。



青少年部会

今年度で12回目となる親子ふれあいスキーを2月2日あだたら高原スキー場で実施した。毎年好評で今年は84人の参加があり、バス2台に分乗し出発した。子どもたちはスキー学校で講習を受け、リフトに乗り、折からの吹雪を吹き飛ばすような歓声を上げ、思いっきり親子で楽しんだ。



文化部会

2月17日、1中コミセンで「心のいやしコンサート」を開催した。「アンサンブル Storm」による金管・打楽器アンサンブルの演奏が披露された。狭い会場に演奏者は11人。金管楽器特有の迫力ある演奏が会場に響き渡った。演奏の合間に、ユーモアを交えた楽器の説明などもあり、80人の参加者は十分満喫できた。



福祉部会

2月16日、1中コミセン集会所において46人の参加で地域福祉講習会を開催した。南部おとしよりセンター職員による「認知症サポーター養成講座」の講義と寸劇の後、「認知症家族を介護して」と題し、講話があった。貴重な体験談を聞き、有意義な時間を過ごすことができた。



体育部会

2月17日、11チームが参加し松戸体育館で、第8回ヘルスバレーボール大会が開催された。今年度は初参加者が多く、レクスポーツを楽しみ大会が盛り上がった。



成績は次の通り。

- 【決勝トーナメント戦】
優勝 金上X(金上)
二位 金上A(金上)
三位 ゴールドラッシュ(西中根)
- 【フレンドリー トーナメント戦】
優勝 勝倉(勝倉)
二位 富士山(富士山)

編集後記

例年1・2月に行われていた芸能音楽祭が、今年度は12月に実施されました。今回も盛会のうちに終了し、地域のふれあいをより深めることができましたと思います。この特集を1・2面に掲載しました。本号が今年度の最終号です。来年度からは紙面を一部見直し、新たな内容を加える予定です。様々な話題が掲載できるよう、情報のご提供、取材のご協力等、よろしくお願ひ致します。今後とも、より良い紙面作りに邁進して参ります。